

認知症と生活支援

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》 池森康裕 sr528@hoku-iryu-u.ac.jp

山田律子(看護福祉学部) 高橋亮(看護福祉学部) 高橋由紀(看護福祉学部)

舩橋久美子(看護福祉学部)

【概要】

認知症高齢者の生活を支援する観点から、身体的・精神的・社会的側面を統合的に捉えるための知識を身につける。

【学修目標】

認知症高齢者の生活支援の観点から、医療職と連携支援するために心身機能の障がいや疾病の基礎知識を理解する。

認知症高齢者の心身機能が生活に及ぼす影響を理解する。

認知症高齢者と家族が、地域生活を継続するために必要とされる心理・社会的支援について理解する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

池森康裕(介護福祉士)、山田律子(看護師)、高橋由紀(介護福祉士)、舩橋久美子(看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

高齢者の福祉施設や医療施設での実務経験を活かし、認知症ケアの基礎的知識と生活支援の方法を教育する。